

安全データシート (SDS)

1 製品及び会社情報

会 社 名	株式会社 井川産業
住 所	鹿児島県薩摩郡さつま町時吉1975-17
電 話 番 号	0996-52-3242
F A X 番 号	0996-52-3242
製 品 名	シラファイン
用 途	化粧品の原料、研磨材、ろ過材、軽量骨材

2 危険有害性の要約

GHSラベル要素：



注意喚起語： 危険

危険有害性の概要：

- ・強い眼刺激。
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い。
- ・発がんのおそれ。
- ・呼吸器系の障害のおそれ。
- ・長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系,免疫系,腎臓の障害。
- ・長期大量の粉じん吸入は呼吸器官に障害を起こす恐れがある。
- ・粉末であり、粉じん吸入を予防すること。

GHS分類：

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分2	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1	
生殖細胞変異原性	区分2	
発がん性	区分1A	
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2	呼吸器系
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1	呼吸器系
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1	免疫系
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1	腎臓

3 組成、成分情報

単一物質/混合物の別： 混合物

主な適用法令、政令 ※

物質名	含有量 (代表値)	CAS No.	化審法	化管法	労安法	毒劇法
石英(結晶)	5.00%	14808-60-7	該当	該当なし	該当	該当なし
三酸化二鉄(III)	1.68%	1309-37-1	該当	該当なし	該当	該当なし
二酸化ケイ素	69.90%	7631-86-9	該当	該当なし	該当	該当なし
酸化アルミニウム	12.60%	1344-28-1	該当	該当なし	該当	該当なし
酸化カルシウム	1.46%	1305-78-8	該当	該当なし	該当	該当なし
酸化マグネシウム	0.31%	1309-48-4	該当	該当なし	該当なし	該当なし
酸化ナトリウム	3.68%	1313-59-3	該当	該当なし	該当なし	該当なし
酸化二カリウム	3.43%	12136-45-7	該当	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン(TiO ₂)	0.20%	51745-87-0	該当	該当なし	該当なし	該当なし
五酸化リン	0.03%	1314-56-3	該当	該当なし	該当なし	該当なし
その他	残量	未公開	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

※ 化審法： 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

化管法： 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

労安法： 労働安全衛生法

毒劇法： 毒物及び劇物取締法

詳細は、「15 適用法令」も参照すること。

※ 有害性を持たないその他の成分については記載していない。

4 応急措置

注意事項	・ 多量に吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移し安静に努め、症状が現れた場合は、医師の診断を受ける。 ・ 皮膚に付着した場合多量の水や石けんで十分に洗い流し、症状が現れた場合は、医師の診断を受ける。 ・ 目に入った場合こすらずに多量の清浄な流水でよく洗い流し、症状が現れた場合は、医師の診断を受ける。 ・ 飲み込んだ場合清浄な水で口の中を洗浄し、症状が現れた場合は、医師の診断を受ける。 ・ ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡し、医師の診断／手当を受けること。 ・ 気分が悪いときは、医師の診断／手当を受けること。
------	---

5 火災時の措置

注意事項	・ 消火剤周辺火災に適した消火剤を使用する。 ・ 特定の危険有害性特になし。 ・ 消火を行う者の保護周辺火災に適した保護具を着用する。
------	---

6 漏出時の措置

注意事項	・人体に対する注意事項：作業に際しては、防じんマスク・保護手袋・保護メガネ等を着用する。 ・環境に対する注意事項：周囲を換気する。 ・封じ込め及び浄化方法と機材：漏洩した物質を掃き集め、又は掃除機等で吸引してから容器に回収し、回収後に漏洩した場所は、水で洗い流す。
------	--

7 取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意	・粉じんを吸入しないこと。 ・吸入や接触を防止するため適切な保護具（防じんマスク・保護手袋・保護メガネ等）を着用し、取扱い後は顔や手等を清浄な水で十分に洗浄する。
保管上の注意	・貯蔵場所を定めて保管する。 ・湿気の多い場所や屋外を避けて屋内に保管する。 ・換気の良い場所で保管すること。 ・容器を密閉しておくこと。 ・施錠して保管すること。

8 暴露防止及び保護措置

・許容濃度（労働安全衛生法等で許容されている濃度）

14808-60-7	OSHA : PEL(mg/m ³) 0.1 ACGIH : TLV 0.025 mg/m ³
1309-37-1	OSHA : PEL(mg/m ³) 10 (fume) ACGIH : TLV 5 mg/m ³ (resp.)
1344-28-1	OSHA : PEL(mg/m ³) 15 mg/m ³ (total dust) / 5mg/m ³ (respirable fraction) ACGIH : TLV 1 mg/m ³ (respirable fraction)
1305-78-8	OSHA : PEL(mg/m ³) 5 ACGIH : TLV 2 mg/m ³
1309-48-4	OSHA : PEL(mg/m ³) 15 ACGIH : TLV 10 mg/m ³ (IHL)

※ OSHA : Occupational Safety and Health Administration 米国労働省安全衛生局
ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienist 米国産業衛生専門家会議
PEL : Permissible Exposure Limit 許容濃度
TLV : Threshold Limit Values
TWA : Time Weighted Average 時間加重平均

・保護措置

取扱上の注意	・粉じんを吸入しないこと。 ・吸入や接触を防止するため適切な保護具（防じんマスク・保護手袋・保護メガネ等）を着用し、取扱い後は顔や手等を清浄な水で十分に洗浄する。
--------	--

9 物理的及び化学的性質

物理的状態（状態）	固体
物理的状態(形状)	粉末
物理的状態（色）	白色～灰白色
物理的状態（臭い）	無臭
引火点(℃)	不燃性

10 安定性及び反応性

特記事項	・可燃性なし。 ・安定性・反応性安定で反応性はなし。
------	-------------------------------

11 有害性情報

製品含有に関する情報

CasNo 1305-78-8

局所効果	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
局所効果	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	呼吸器	区分1
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	呼吸器	区分1

CasNo 1309-37-1

局所効果	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
局所効果	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	気道刺激性	区分3
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	呼吸器系	区分1

CasNo 1309-48-4

局所効果	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	気道刺激性	区分3

CasNo 1314-56-3

急性毒性	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分2
局所効果	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分1
局所効果	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1

CasNo 1344-28-1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	気道刺激性	区分3
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	肺	区分1

CasNo 14808-60-7

生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分1A
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 免疫系 呼吸器 腎臓	区分1

CasNo 7631-86-9

局所効果	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2
発がん性		区分1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	気道刺激性	区分3
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 免疫系 呼吸器 腎臓		区分1

12 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	データなし
水生環境有害性（長期）	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13 廃棄上の注意

注意事項	・ 内容物／容器を適切に廃棄すること。 ・ 残余廃棄物廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う。 ・ 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに内容を明示し委託して処理する。 ・ 汚染容器及び包装においては、洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従う。
------	--

14 輸送上の注意

- ・ 国連「危険物の輸送に関する勧告」に基づく分類情報は以下のとおり。

国連番号	該当なし
品目（国連輸送名）	該当なし
国連分類	該当なし
クラス/等級	該当なし
容器等級	該当なし

注意事項	特別安全対策破袋並びに粉じん発生に注意し、水濡れ・荷崩れに注意する。
------	------------------------------------

15 適用法令

- ・主な適用法令を以下に例示する。

適用法令名		該当する物質情報(CasNo、適用法令情報)
化審法：	第一種特定化学物質	該当なし
	第二種特定化学物質	該当なし
	監視化学物質	該当なし
	優先評価化学物質	該当なし
	新規公示化学物質(2011/4/1～)	該当なし
	新規公示化学物質(～2011/3/31)	該当なし
	既存化学物質	[CasNo.14808-60-7] 1-548 [CasNo.1309-37-1] 1-357/ 5-5188 [CasNo.7631-86-9] 1-548 [CasNo.1344-28-1] 1-23 [CasNo.1305-78-8] 1-189 [CasNo.1309-48-4] 1-465 [CasNo.1313-59-3] 1-495 [CasNo.12136-45-7] 9-2423 [CasNo.51745-87-0] 1-558 [CasNo.1314-56-3] 1-523
化管法：		該当なし
安衛法：	名称公表化学物質	該当なし
	新規名称公表化学物質	該当なし
	製造等が禁止される有害物等	該当なし
	製造の許可を受けるべき有害物	該当なし
	表示し、又は通知すべき物質	[CasNo.14808-60-7] 別表第9の165の2 [CasNo.1309-37-1] 別表第9の192 [CasNo.7631-86-9] 別表第9の165の2 [CasNo.1344-28-1] 別表第9の189 [CasNo.1305-78-8] 別表第9の190
	危険物	該当なし
	特定化学物質等	該当なし
	鉛等／四アルキル鉛等	該当なし
	有機溶剤等	該当なし
毒劇法：		該当なし
毒劇法：有機シアン化合物から除かれるもの		該当なし

※ 注記：本製品は原体ではありません

16 その他の情報

- ・参考文献 主要な情報源：

化学物質総合情報提供システム（CHRIP）：製品評価技術基盤機構 提供（2019/4/16版）
GHS混合物分類システム：経済産業省 提供（Ver4.0）
米国産業衛生専門家会議（2015）

- ・その他 ここに表記された情報は作成日又は改訂日における知見に基づいたものであり、正確なものであると信じていますが、その正確性やその使用によって得られる結果を保証するものではありません。
記載の注意事項は通常の取扱いを対象としており、特別な取扱いをする場合には状況に応じた安全対策を施し、十分な注意を払う必要があります。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定されますようお願い致します。